

(2) 水稻優良品種候補「空育111号」について

中央農業試験場稲作部 育種科

良質な優良品種を開発するため「キタヒカリ×巴まさり」のF₂を母、「空盲99号」を父として交配した雑種後代、約2万個体の中から、特性検定¹⁾、生産力検定²⁾、ならびに地域適応性検定試験³⁾を実施して本系統を選抜固定した。

本系統の玄米品質と食味は「イシカリ」、「ともゆたか」より明らかに良く「キタヒカリ」並である。また、出穂期・成熟期は、上記品種よりも早い早生で、耐冷性⁴⁾はやや強である。

しかし、いもち病耐病性が「イシカリ」よりやや、弱い欠点があり、また収量も「ともゆたか1」より少ない。

以上の特性から、道央1空知・石狩・後志・胆振・上川・留萌)で「イシカワ」、「ともゆたか」におきかえて普及することにより、「キタヒカリ」とともに道産米の良質化に貢献したい。

なお、本系統は、早生の晩であるが低温年には出穂がおくれ易い性質があるので、① 中苗以上の苗を用い、植付は標準密度125株/m²とする。また、いもち耐病性と挿穂が「イシカリ」にやや劣るので、② 各地の施肥基準を守り、適期防除に留意する。

品種名	出穂期 月・日	収量 kg/10a	収量比 %	検査等級	食味	アミログラム 最高粘度 B.U	アミロース 含量比 %	障害型 耐冷性	いもち病 耐病性
空育111号	8. 6	486	96	2上	上下	435	97	や強	中
しおかり	8. 8	507	100	3上	中上	326	106	や強	や強
はやこがね	8. 7	538	106	3上	中上	362	106	や強	中～や強
イシカリ	8. 11	477	94	2下	上下	398	100	中～や強	や弱

1) 特性検定試験（品質、食味特性、耐病性、耐冷性などの検定を行い選抜の参考にする）は、52年から6年間実施。

2) 生産力検定試験（収量、出穂期、千粒重などを既存品種と比較し、選抜の参考にする）は53年から5年間実施。

3) 現地適応試験（奨励品種決定調査）は、試験機関で55～57年に4カ所で実施、委託農家では56～57年に空知10、石狩4、後志4、胆振2、上川9、留萌2、系31カ所で実施。

4) 障害型耐冷性、特性検定試験として実施、冷水、気象箱を使用。

5) 表の出穂期、収量、検査等級、アミロース含量比、アミログラムは、55～57年の平均値、いもち耐病性、障害型耐冷性は、53～57年の検定結果。

[目次に戻る](#)